

平成 18 年度の評価結果の状況等

平成 18 年度においては、平成 19 年 3 月 28 日付けで、大学評価・学位授与機構から、基準においては「評価基準を満たしている。」、選択的評価事項においては「目的の達成状況が良好である。」と評価されました。

鹿児島高専の評価

本校は、11 の基準及び 2 つの選択的評価事項について評価を受け、優れた点として挙げられたものは次のとおりです。

主な優れた点

1. 土木工学科 5 年次の「意匠設計」では、実際の公園設計をテーマに、学生が自分たちでアイデアを出し、改善しながら、従来にない新しい公園を設計させるための指導を行うなど、創造性を育む教育方法の工夫がなされている。(基準 5)
2. 準学士課程におけるインターンシップは、社会人として必要な生活態度、責任ある行動を身に付けることを目的に、「工場実習」として各学科とも 4 年次に実施しており、実習終了後に実習報告書の提出を義務付けるなど、創造力豊かな開発型技術者の育成のために活用されている。(基準 5)
3. 準学士課程及び専攻科課程ともに、就職希望者の就職決定率が高いばかりでなく、その就職先の業種も、建設業、製造業、情報通信業等の専門的・技術的職業が中心となっており、当校の養成する人材像である技術者としてふさわしいものとなっている。また、進学希望者の進学決定率についても高く、その進学先も、当校の専攻科、大学の工学部系の学部、工学系を中心とした研究科等、各学科及び各専攻の専門分野に関連したものとなっており、教育の目的において意図している養成しようとする人材像等について、十分な教育の成果や効果が上がっている。(基準 6)
4. ロボットの製作場として「夢工房ハヤト」を整備し、技術職員をはじめとする技術支援、及び先輩から後輩への技術の伝承の成果として、高等専門学校ロボットコンテスト全国大会に 7 年間に 5 回出場するなどの実績を上げている。(基準 7)

優れた点（主な優れた点を除く）

1. 学校紹介特別番組をテレビ放映して当校の学習・教育目標等を説明し、その内容を収録した DVD を鹿児島県下の中学校に配布するなど、社会に対して積極的に目的を公表している点は特色ある取組である。(基準 1)
2. 教務委員会を中心に、一般科目担当教員と専門科目担当教員が連携して、各授業科

目に必要な基本的内容を整理した「基礎・基本」を取りまとめ、それに基づいて授業内容を調整するなど、科目間連携が機能的に行われている。(基準2)

3. 学生が主体となって実施している体育祭では、各学科が一体となって取り組んでおり、学生の自主性を育てるとともに協調性を養う上で、高い効果を上げている。(基準5)
4. 学生寮は、学寮チュートリアルなど学生による自主的管理体制を整備し、規律ある集団生活の中で、学生の自制心、協調性を養う上で、有効なものとなっている。(基準7)
5. 外部資金の獲得については、受託試験等の受入において成果を上げている。(基準10)
6. 地域の企業及び市町とともに産官学連携組織として、「錦江湾テクノパーククラブ」を組織し、技術相談件数の増加を図るなど、地域との交流を推進していることは、特色ある取組である。(事項A)
7. 地域住民へのスポーツ支援を目的としたNPO法人である「隼人錦江スポーツクラブ」を設立し、霧島市及び近隣住民に対して各種競技の技術指導を行うなど活動の成果を上げている点は、特色ある取組である。(事項B)